

「PETによる乳がんの術前化学療法の効果予測」

に付随する臨床研究へのご協力をお願い

1. 研究の目的と意義

術前化学療法を行う乳がん症例を対象とし、薬物の腫瘍に対する治療効果が、FDG-PETを薬物投与1コース後に行うことにより予測可能かを調べることを目的とした試験「PETによる乳がんの術前化学療法の効果予測」が平成19年8月～平成22年12月に行われました。参加を頂きました皆様にはあらためて厚く御礼申し上げます。

この度、当院では「PETによる乳がんの術前化学療法の効果予測」試験における治療薬の効果を予測する要因について調査を行うことになりました。この研究は「PETによる乳がんの術前化学療法の効果予測」試験にご参加頂いた方を対象に行われ、当時の手術で摘出し当院に保存してあるがん組織の病理標本を新たに調べることによって、どのような患者さんにどの化学療法を行うことが適切かを解明し、乳癌治療の最適化を図ることを目的としています。この研究は、平成33年03月に終了する予定です。

2. 研究の方法

以前手術で摘出し当院に保存してあるがん組織の病理標本を研究用試料として利用し、がんやその周囲の細胞におけるタンパク質の発現状況を調べます。すでに摘出されている病理標本を用いて研究を行いますので、新たな診察や検査の必要はありません。

3. 個人情報とプライバシーの保護について

この研究は、当院の倫理審査委員会で倫理性・科学性が検討され承認されています。研究試料を測定機関に提供する際には、あなたを特定出来る情報（お名前、住所、電話番号など）は記載しません。とりまとめた情報を医学雑誌などに発表する場合も、個人が特定されることはありません。

この研究にご自分の病理標本を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この研究への参加をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。また上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。その場合はあなたのデータを集計に用いることはいたしません。

連絡先 群馬県立がんセンター乳腺科 電話：0276-38-0771

研究責任者：柳田 康弘